

令和2年度 神奈川県立大和西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

令和3年3月31日

	項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
1	教育公務員としての倫理意識の徹底及び法令遵守意識の向上	○「神奈川県職員行動指針」を踏まえ、職員の綱紀保持と服務規律の確保に向けて、公務員として絶対に不祥事を起こさないという法令遵守の意識と公私を問わず高い倫理観を持って職務を遂行する。	○通知や新聞記事など不祥事の事例を踏まえながら、管理職が、迅速に周知し、事故防止会議、事故防止研修など様々な機会を捉えて、公務員としての自覚促し、モラルの向上等を図った。
2	セクハラ、わいせつ行為の防止	○生徒に対するセクハラ、わいせつ行為、職員間における迷惑行為の根絶を目指す。	○全教職員を対象にした事故防止会議を実施し、スクール・セクハラは重大な人権侵害にあたる行為であるという意識を高め、日頃から自らの言葉や行動に注意する人権感覚を磨いた。 ○教職員間の報告・連絡・相談が円滑に行われ、どんなことでも相談できる風通しの良い職場づくりに努めた。 ○今後もセクハラ等の人権侵害の構造についての認識を職員自身がさらに深めるために折に触れ、研修等を行う。
3	体罰・不適切指導の防止	○体罰は生徒の人権を損ない、生徒と教職員との信頼関係を根底から崩すものであるという意識を、職場全体に浸透させ、体罰や不適切指導の未然防止と根絶を目指す。 ○常に人権に配慮した言動を心がけ、相手の立場や人格を尊重するよう努める。	○新聞記事・不祥事防止職員啓発資料を活用し、朝の打合せ、事故防止会議等で倫理意識の向上を図り、保護者・地域からの電話対応の仕方についても注意を喚起した。 ○相談窓口の周知、ケース会議の複数回開催等により、生徒の相談体制を整備し、人権に配慮して支援に当たった。
4	成績処理・進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	○成績処理、通知表、調査書など作成における事故の発生を未然に防止する。	○定期試験等において、環境整備・問題管理・適正な監督業務の遂行、シュレッダー使用注意など注意点を徹底した。 ○成績処理に係る業務遂行の手順及び注意点を周知徹底するとともに、複数による業務遂行と複数によるチェック体制を徹底した。 ○調査書作成に係る業務遂行及び点検マニュアル等の検証を行い、書類発行に係る手順や注意点を周知徹底するとともに、複数による業務遂行と複数によるチェック体制を徹底した。今後もチェック体制について常に検証を行い、合理的かつ信頼性の高い仕組みを構築するための努力を継続する。 ○互いに声を掛け合い、情報共有を図り、疑問点をそのままにせず直ちに周囲に相談する雰囲気今後も醸成していきたい。

令和2年度 神奈川県立大和西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

令和3年3月31日

5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	<p>○神奈川県情報セキュリティポリシー改正の趣旨を全体で共有し、個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、個人情報や情報管理に係る事故の未然防止を図る。</p>	<p>○事故防止会議等で、適正な個人情報の管理やUSB貸出しに係る手続きと管理について周知し、個人情報の管理徹底を図った。</p> <p>○部活動インストラクターを含む全職員に、個人情報の管理と不適切な携帯電話やSNSの使用について周知を図った。</p> <p>○個人情報持ち出しに係る所定の手続きを徹底した。</p> <p>○個人情報を含むデータや文書の管理については、常に複数で対応することを基本に、各部署の担当者を中心に事故防止に努めた。</p> <p>○ICT活用推進を図るために、職員研修を実施し、個人情報の扱い、生徒の肖像権、著作権について職員間での認識を共有し、事故防止の意識の啓発に努めた。</p> <p>○今後、ICTを活用した授業配信や国際交流を推進するために、関係する課題に丁寧に対応していくことが必要である。</p>
6	交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止と交通法規の遵守	<p>○交通マナーの遵守を徹底し、交通事故、酒酔い・酒気帯び運転など交通違反を未然に防止する。</p>	<p>○安全運転の励行、飲酒した翌日の運転、交通法規の遵守について、また、安全運転の励行について、事故防止研修など様々な機会を捉えて、職員全体に常に注意を喚起した。</p> <p>○交通事故に関する「ヒヤリハット事例」などを活用し、全教職員を対象とした事故防止会議を実施した。</p>
7	会計事務などの適正執行	<p>○私費会計のトラブルや事故・不祥事を未然に防止する。</p> <p>○備品の管理・点検を適正に行う。</p> <p>○金庫等の定期的な点検を行い、安全で適切な現金管理に努める。</p>	<p>○すべての私費会計において、PTA会計監査の実施、管理職・事務長の定期的な諸帳簿点検を行い、適正な執行を徹底した。</p> <p>○私費の支払いに関しては、できるだけ口座振り込みを利用するよう努めたが、さらに徹底する必要がある。</p> <p>○折に触れて全職員に対して、適正な会計処理について周知した。</p>
8	適正な業務執行体制の確立	<p>○職員全員が各自の責任を自覚して職務を遂行するとともに、業務を組織として計画的に執行するための体制づくりを行い、複数で確認することにより、事故・不祥事を未然に防ぐ。</p>	<p>○事故防止会議や研修等の様々な機会を捉えて、教育公務員としての責務を再確認し全職員のコンプライアンスの意識を高めた。</p> <p>○適切な業務の進捗管理と業務バランスに留意し、特定の職員が過度のストレス等を抱えることがないように全体で配慮した。</p> <p>○若手職員に対する研修の機会は十分であったとは言い難い。</p>

令和2年度 神奈川県立大和西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

令和3年3月31日

9	入学者選抜に係る事故防止	○日程及び業務体制を確認し、複数の職員で確認することにより、事故・不祥事を未然に防止する。	○入学者選抜業務について、選抜業務マニュアルに基づいて、事故防止研修及び担当者打合せを実施し、令和3年度入学者選抜に係る共通理解を図り、厳正に実施することができた。
10	構内施設・設備の安全管理と緊急時の迅速な対応	○・校内施設・設備の安全管理を徹底し、緊急時を想定した対応を確認する。帰宅する際には戸締り、消灯、火の始末等を常に確認し、施設・設備の定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図る。	○定期的に点検を実施し、安全管理の徹底を図った。 ○教室の衛生管理に努め、安全で安心な教育環境の整備に、全職員で取り組んだ。 ○消灯、鍵の管理は充分とは言えないので、今後も、生徒への協力を呼びかけるとともに、各教室の管理者への注意を継続する。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び令和3年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

令和2年大和西高等学校不祥事ゼロプログラムの検証の結果、すべての取り組み課題において不祥事ゼロを達成することができた。この検証結果を本校ホームページで公表する。令和3年度も引き続き昨年と同様の取り組むべき課題、目標、行動計画により、不祥事ゼロの継続に邁進し取り組んでいく。併せて、時代の趨勢を捉えながら、常に取組の在り方についても検証を継続する。